

カクテルでつなぐ地域の輪

出張バー・大熊Bar mauve 近藤佳穂

目次

- 01 目次
- 02 はじめまして、近藤佳穂です
- 05 何も無いはなんでもできる余白
- 06 気軽に交流できる場所づくり
- 07 レインボーバータイムへのこだわり
- 10 余暇をみんなで楽しめるまちへ
- 11 (番外編)余暇をみんなで楽しめるまちへ
- 13 バータイムとAPPの共通点
- 15 結びに

はじめまして、近藤佳穂です

大熊町を拠点にホテル仕込みのカクテルを作っています

1994年生まれの31歳。東京都杉並区出身。
大学卒業後、ホテル、ニューグランドへ就職。



レストランやバー、経理などで経験を積む。
2級レストランサービス技能士（国家検定）
今年の4月に一児の母となりました。



はじめまして、近藤佳穂です

結婚を機に大熊町へ移住

廃炉作業を頑張る夫を支えたい
大熊町に住むと、復興の一部になれそう

2021年

結婚

2022年6月30日

大熊町内の帰還困難区域のうち、
特定復興再生拠点区域の避難指示が解除

同年7月

民間アパートを借りて、大熊町へ移住



はじめまして、近藤佳穂です

移住から1ヶ月半で大熊にて初出店、出張バーテンダーへ

2022年9月

イベントにてオリジナルカクテルを提供
※大熊町駅西、
地域活動拠点 KUMA・PRE、現在は閉館

**KUMA・PRE初の夜イベント・アルコール提供で
賑わい創出に貢献しました**



何もないはなんでもできる余白

双葉郡の様々な場所でカクテルを提供

2022年11月 川内村、秋まつりでオリジナルワインカクテルを考案、提供

同年同月 双葉町、DIYイベントで出店
出張バーの名前を「OKUMA Bar mauve」とする



気軽に交流ができる場所づくり

軽食・喫茶レインボーのマスターからの依頼



ご挨拶がきっかけでお手伝いをしていた、レインボーのマスターから『夜の活気を取り戻したい。うちでバーイベントをやらないか』

2023年5月より、おおくまーと内の店舗と外のテラス席にて
レインボーバータイムを開催。月末最終水曜日の**月1イベント**として定番に。
※2024年9月まで行いました。

レインボーバータイムへのこだわり

さまざまなコンテンツを取り入れ、会話のきっかけに

告知フライヤーは
地元出身の方が
温かみのある
手書きイラストで作成

普段の営業とは
異なる食事をご用意。
川内村の人気古民家カフェの
オリジナルカレー

副菜は
大熊町産野菜を中心に
旬を感じられるものを



町内在住イラストレーターの
グッズ販売や
檜葉町のお菓子屋さんの
焼き菓子販売のある会も



Rainbow Music Club
のライブも目玉でした!

レインボーバータイムへのこだわり

ご当地カクテルの作成



町の景勝地を描いた緞帳をイメージしたカクテル 梨とキウイ(当時の特産品)のカクテル

大熊町民の方に楽しんでいただきたいという思いから、まちをイメージしたカクテルを複数作成しました。車社会なので、ノンアルコールとアルコール、両方で作成しています。

町外での出店の際も、大熊町を知っていただくきっかけになっています。

レインボーバータイムへのこだわり

いつもと違うおいしいものと、誰かに会える場所



食事もカクテルも、**旬や季節**を大切に。特にカクテルは新商品を1つ以上考案。定番と新商品を組み合わせたメニュー構成で、常連さんも楽しめるように。

カクテルを作りながら、初めましての方にはしっかりコミュニケーションを。得た情報から、**人と人とを繋ぐ**ことも積極的に行いました。

余暇をみんなですれすれ楽しむまちへ

誰かにちょっと話したくなるような時間を提供



私の考える『賑わい』とは、物理的な「人の集まり」ではなく、
【ちいさな出会いや交流の広がり積み重ねで、人の輪が大きくなっていくこと】

誰かの「楽しい」が、別の誰かの「行ってみたい」「また来たい」というような
循環が生まれているときに、“大熊の賑わい”を感じます。

(番外編)余暇をみんなで楽しめるまちへ

アパートのみんなと友人達で月一バーベキュー

アパートが満室になったタイミングで、招待状をポストに投函し、アパート住民とその友人向けにBBQ会を開催。

“APP”という愛称で、いまだに月一を崩さず雨の日でも風の日でも雪が降ってもみんなで火と美味しいものを囲み交流しています。

不動産会社の方やオーナー様のこともお誘いしまちづくり会社のかた、町内勤務の方、隣のアパートの方、町内の学校の子どもたち等たくさんの方が、集ってくださるイベントに成長していきました。



(番外編)余暇をみんなでお楽しみめるまちへ

アパートのみんなと友人達で月一バーベキュー



アパートは8部屋あり、様々な属性の方が住んでいます。
APPをきっかけにお互いを知り合い、イベントに乗り合わせで行くことも！
私の友人と住人さんが飲食店で偶然出会い、相席することもあるそうです。
新規移住者さんの、**カジュアルな情報収集・交流の場**にもなっています。

バータイムとAPPの共通点

月イチ開催の適度な頻度と継続性、余白の多さ

- ・ 主軸（バー営業・BBQ）以外に余白があるイベント設計
→ 挑戦したいひとへ関わりしろをつくることができ、無理なく携われる
余白 = 自由 参加者も思い思いのペースで楽しめる
- ・ コンテンツよりも『**人との交流**』がメインの仕組み
→ ひとりで来たとしても、誰かと話せる雰囲気づくりを徹底
何時に来て、何時に帰っても大丈夫！



バータイムとAPPの共通点

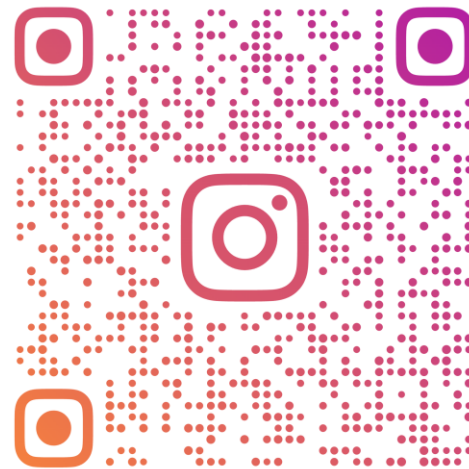
月イチ開催の適度な頻度と継続性、余白の多さ

- ・顔見知りから『まちの仲間』へ、ステップアップしやすい距離感
→コミュニケーションが必要な場所は集約。
バータイムなら、店内奥の注文コーナーやカウンター付近。
APPならテントとテーブルのある料理コーナーや焼き場が該当します。



結びに

ぜひ、大熊町のイベントに遊びに来てください



CHICAFUJI

イベント情報や
大熊町での暮らしを
楽しく発信中！
フォローお待ち
しています！

浜通りのグルメ情報が多めです 🤗

『にぎわい』と『交流』は、誰かがつくるものではなく、
一人ひとりの行動が少しずつ重なって育っていくものだと思っています。

私自身もその小さな一人として、
これからも人の動きと気持ちの流れをつないでいきたいです。